



# 荻の里

黒部市立荻生小学校

学校だより14号

平成30年3月23日

目指す子供の姿 **や**さしく **か**しこく **た**くましく

「失敗を恐れず、挑戦する勇気を」

校長 金三津 ひろみ

この1年間、皆さんが一生懸命にがんばる姿をたくさん見ることができました。

1年生、入学してから1年間で、小学校での生活や学習・行事にもすっかり慣れ、小学生らしくなりました。1時間席に座り、先生や友達の話をしっかり聞いたり、自分の意見を発表したりすることができるようになりました。あいさつは、全校で一番上手でした。初めてのことにどんどん挑戦していく姿が素晴らしかったです。

2年生、1学年での経験を生かして、いろいろなことに一生懸命に取り組む姿は、1年生のよいお手本でした。行事のたびにしっかりと振り返りを行って、自分たちががんばったことやできるようになったことに自分自身で気付いていました。皆さんがどんどん自信を付けていく姿が頼もしかったです。

3年生、理科や社会科、総合的な学習の時間等の新しい勉強が始まりました。友達の意見をよく聞き、自分の考えを進んで発表して、みんなで学び合うことを楽しんでいる授業の様子を見るのは、とても楽しかったです。スマイルスマイル集会の準備やゲームのお世話で、張り切って活動する姿が素敵でした。

4年生、上学年の仲間入りをしました。朝のあいさつ運動では、あいさつボランティアとして全校で一番多くの方が参加していました。除雪や物の移動等の作業で、手助けしてほしいことがあって声をかけると、決して嫌がらず、気持ちよく働いてくれる姿を見るのは、とても気持ちがよかったです。

5年生、高学年として、委員会活動やいろいろな行事で、6年生と一緒に進んで活動してくれました。特に、6年生を送る会の準備や当日の進行、後片付け等での皆さんのがんばりからは、6年生になることへの自覚が感じられ、とても嬉しかったです。

卒業式のときにもお話ししましたが、皆さん、一人一人には、それぞれによいところや得意なことがたくさんあります。その自分の力を精一杯出し切ってがんばることが、自分を大切にすることです。

では、どうすれば、自分のもっている力やよさを発揮することができるのでしょうか。そのためには、失敗を恐れず、挑戦することが大切です。やってみなければ、絶対にできるようにはならないからです。皆さんは、「どうせできない、失敗したら格好悪い」と言って、やる前から諦める人と、「格好悪くてもいい」と言って、挑戦する人のどちらになりたいですか。本当に格好いいのは、失敗したくない、面倒なことはやりたくないなどの弱い気持ちに打ち克って、挑戦する勇気をもつことのできる人だとわたしは思います。

この1年、皆さんは、いろいろな新しいことや難しいことも諦めず、取り組んできました。これからも、勇気をもって小さな挑戦を毎日積み重ねていってほしいと思います。そして、互いの挑戦を、みんなで励まし合い、応援し合うことのできる荻生小学校にしていきましょう。

(修了式の話より)

## 平成 29 年度 卒業証書授与式

3月16日（金）、卒業証書授与式を行い、6年生26名は、立派に荻生小学校を巣立ちました。

卒業式は、卒業生にとって人生の大きな節目であることは言うまでもありませんが、在校生や学校にとっても大切な行事です。この日に向けて、子供たちは真剣に練習を積み重ね、準備を行ってきました。

当日は、あいにくの雨模様となり、肌寒い天候でしたが、卒業生・在校生ともに、気持ちを態度で表そうと、精一杯がんばり、心に残る素晴らしい卒業式にすることができました。別れの言葉、歌、拍手等、全てに卒業生への感謝の気持ちや、前途を祝福する気持ちがあふれ、心温まる時間となりました。ご臨席いただいた来賓の皆様からも、多くのお褒めの言葉をいただきました。「全校合唱『さようなら』を一生懸命に歌う子供たちの姿を見て、胸が熱くなりました」という感想も多くの方からいただき、式の後、子供たちにも伝えました。子供たちは、心を込めて、一生懸命に取り組むことの素晴らしさを実感し、また一回り成長することができたのではないかと思います。



卒業式終了後、門出の式も体育館で行いました。

## 平成 29 年度 修了式

修了式では、1年生と5年生の2人が「がんばったこと」の発表を行った後、各学年の代表者に修了証を授与しました。その後、各教室で担任から、一人一人に修了証が手渡されました。「第〇学年の課程を修了したことを証する」と書かれた修了証は、1年間、一人一人が一生懸命にがんばった証です。子供たちの1年間のがんばりと成長をしっかりと認め、伝えることで、一人一人が自信と希望をもって次の学年へ進級することができるよう、ご家庭でも、声をかけていただけましたらありがたいです。

## 1年間のご理解・ご協力 ありがとうございます

今年度、本校では、子供たちの交通事故が1件もありませんでした。これは、子供たちが生活や交通のきまりをしっかりと守り、自分の安全を自分で守ろうと意識して過ごしていたことの表れであるとともに、日頃からのご家庭での声掛けや地域の皆様の見守りの成果です。本当に、ありがとうございました。

春休みは、天候もよく、うきうきした気持ちになりやすく、交通事故の多く起きる時期でもあります。引き続き「事故0」を続け、4月5日（木）の始業式には、1学年進級した子供たちが、全員元気に登校できることを願っています。飛び出しをしない、横断時の一旦停止と左右確認、自転車乗車時のヘルメットの着用など、引き続き、ご家庭でも声掛けをお願いします。

保護者・地域の皆様には、この1年間、本校の教育に温かいご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。子供たちは、様々な面で皆様のご支援をいただき、のびのびと充実した学校生活を送ることができました。私たち教職員にも、いつも温かい励ましの言葉や力強いご協力をいただきましたことに、心より感謝しております。

今後とも、荻っ子がますます「やさしく かしく たくましく」成長するよう、ご理解・ご支援をお願いいたします。